

11月8日（月）

県文化財課から本殿の調査に来ました。屋根の葺き替え前の簡単な調査ですが、それでもビッグニュースがありました。今、赤く塗られているところには、なんらかの絵が描かれていたとのこと。また柱には金箔が貼られていたことも分かりました。彩色が剥げてきて、修復するのが大変だから赤い漆一色で上塗りしたのでしょう。そんなことは他の社寺でもよくあることですが、まさか自分とこの神社もそうであったとは驚きました。本格的な調査には多額の費用がかかりますが、どんな絵が描かれていたのか、また、本殿全体はどんな彩色だったのか、興味があります。漆を塗って見栄えよくするより、過去にはどんな彩色がなされていたのかを知りたいです。それを再現できるともっといいのですが、費用的にそれは無理。だから、せめて紙の上での再現でいいからしてもらいたいと思います。みなさん、募金よろしく。（募金方法等が決まったらお知らせしますので、それまで貯金しといてください。）